

雨を吹き飛ばして、にぎやかに！ 熊石地域伝統の夏祭り

8月13日から15日にかけて、熊石地域で伝統の夏祭りが行われ、お盆をふるさどで過ごす帰省客や観光客など多くの人で賑わいました。根崎神社例大祭では、京都祇園祭りの流れをくむ伝統の祭囃子が町内に響き渡り、天狗と御神輿、8台の山車が町内を練り歩き、きらびやかな山車の勇壮な姿を披露しました。今年も域学連携事業で訪れている札幌大谷大学の学生達のほか、八雲地域からの参加者も伝統ある祭りを楽しんでいました。また、泊川地区でも山車が1台、折戸、相沼地区でも4台の山車が地域を練り歩きました。祭り期間は、あいにくの天候でしたが、町中が雨を吹き飛ばすような熱気に包まれていました。



大人も子供も熱気いっぱい！ 第35回商工会夏祭り

第35回商工会夏祭りが8月18日、熊石漁港ふれあい広場で開催され、町民ら約300人がビアガーデンや花火や盆踊りなど夏の夜を楽しみました。はじめに熊石、相沼保育園児たちによる「よさこい」がオープニングを飾り、熊石中学校吹奏楽部による演奏会、熊石空手スポーツ少年団の演舞や泊川太鼓の会による日本海はまなす太鼓、スコップ三味線愛好会によるスコップ三味線のほか、カラオケ大会も行われ、町内ののど自慢がロックや歌謡曲などを披露しました。



1945年8月15日 終戦の日から73年 戦没者への追悼、平和への祈り

終戦の日から73年を迎え、落部地区忠魂祭(7月22日)、熊石地域戦没者慰霊祭(7月27日)、八雲町戦没者追悼式並びに平和祈念式(8月15日)が開催されました。

多くの方が参列し、祖国の繁栄と同胞の安泰を念じつつ散華された戦没者を追悼し、恒久平和を祈念しました。

